

《修士論文要旨》

ピラミッドの変遷とその背景

中 村 一 輝*

序章 はじめに

古代エジプトのピラミッドは個体ごとに様々な差が見られる。この論文では、ピラミッドの建造方法、規模、形状、建造地に注目しその変化の過程と背景について研究する。

第一章 ピラミッド以前の時代

古代エジプトでは、紀元前3000年頃に上エジプトと下エジプトが統一され王朝が誕生した。このころの王墓は、盛り土を日乾レンガで覆った墳丘墓であった。後にマスタバと呼ばれる日乾レンガ製の墳墓も登場するが、これが王墓として使用されたかは不明。

第二章 ピラミッドの建築技法～建材とその積み方～

ピラミッドは外見こそ階段か真正、もしくは屈折の違いしかないが、その建築技法には様々な種類がある。

ピラミッドの建造が始まった第三王朝から第四王朝初期にかけて、核部分は石灰岩のブロックを内側に傾け付加層状にして積んでいたが、第四王朝の途中からは水平に積まれるようになった。第五王朝になると、石材は小さくて粗くなり、核部分の質は低下する。第十二王朝の時代には、耐久性の向上を図り核部分に骨組みが組み込まれるようになるが、解決にはつながらなかった。その後、核部分には日乾レンガが使用されるようになり、第十三王朝にピラミッドの時代が終わりを迎えるまでこれは続いた。

第三章 ピラミッドの内部・地下

第三王朝時代のピラミッドは、部屋の全てが地下に造られており、ある程度の共通性が見られた。第四王朝になると地上部分に部屋を持つピラミッドが登場する。しかし、期間は短く、またすぐに部屋は地下に造られるようになる。第五王朝からは、地下構造の個体差が少なくなっていく、第五王朝終盤から第六王朝にかけての地下構造はほとんど全て同じであった。第十二王朝初期の地下構造は非常にシンプルな物であったが、それ以降第十三王朝までの地下は対照的に複雑な物が多かった。

第四章 ピラミッドの入り口

第三王朝時代の入り口は、ピラミッドから北に少し離れた場所に北向きの階段で造られること
平成25年度 *文学研究科文化財史料学専攻

が多かった。第四王朝時代の入り口は、屈折ピラミッドを除いてピラミッドの北側斜面、地表からある程度の高さの場所に傾斜路の形で造られた。第五王朝時代は、入り口はピラミッドの北側斜面に造られた物と、ピラミッド本体の北側に接する地面に北向きで造られた物が混在している。また、途中からは入り口礼拝堂が建造されるようになる。第六王朝時代の入り口は、全てピラミッド本体の北側に接する地面に北向きで造られた。第十二王朝時代、初期は北側北向きの入り口であったが、中期になると北側以外の様々な場所に造られるようになる。このように、ピラミッドの入り口も時代ごとに様々な違いが見られる。

第五章 部屋の天井

ピラミッドに造られた部屋の天井にも様々な違いが見られる。第三王朝時代は平天井のみであったが、第四王朝時代になると持ち送り式構造の屋根、重量軽減の間、切妻式屋根が登場した。このうち切妻式屋根は、第五王朝以降も使用されることになる。第十二王朝以降は、玄室の天に蓋をするように天井の石材を置くものや、切妻式屋根とアーチ状の天井を組み合わせた物が登場した。なお、平天井は第四王朝以降も倉庫の天井などに使用され続けた。

第六章 ピラミッドの建造地

ピラミッドはナイル川の西岸に建造された。その範囲は、東西は然程広くないものの、南北は約80kmと広大であった。この範囲の中で王たちは、首都付近、外交上の重要地点、王の出身地周辺など様々な理由でピラミッドの建造地を決定した。ただし、建造地は、その場所の地盤がピラミッドの重さに耐えられることが条件であり、ある程度場所は限定されていた。

第七章 考 察

ここまで見てきたピラミッドの変遷に関する考察を行う。まとめると以下のようなになる。

第三王朝時代、階段ピラミッドの誕生。基底部形の変化が見られる。第四王朝、ピラミッドの最盛期。太陽信仰の影響を受け真正ピラミッドの登場。短期間ではあるが、玄室が地上部分に造られる。石材の積み方の変化や新しい天井の様式の登場は、これに伴うもの。第五王朝時代、コスト削減のためピラミッドの小型化および核部分の低質化が起きる。地下構造は変化が少なくなり、終盤からほぼ同じ物が造られるようになる。第六王朝時代、ピラミッドの規格、地下構造はほぼ同じ。第十二王朝時代、ピラミッドに関する情報が失われていたため地下構造は以前と大きく異なりシンプルなものになる。しかし、途中からは盗掘対策により複雑化。また、核部分は骨組みが組み込まれたり日乾レンガが使用されるようになったりする。第十三王朝も同じ傾向が続く。

古代エジプト人は社会の変化に合わせて柔軟にピラミッドを変化させていった。変化する部分は状況により様々だったが、その理由はわかりやすいものであった。ピラミッドの構造は、その背景にあるものをよく表しているのである。